

令和元年度主催事業「家族で泊まろう in 英彦山」事業報告

- 開催日：令和元年5月11日（土）～12日（日）
- 参加者数：参加者 家族10組37名
- 会場：添田町上津野地区・英彦山青年の家周辺

事業のねらい

家族で自然体験活動に取り組む機会を提供しながら、「鍛ほめ福岡メソッド」の啓発・推進を図り、子どもの自主性を高めたり、家庭の教育力を向上させたりすることを目的としています。目的を達成しやすくするよう、プログラムごとに課題（ミッション）を提示し、家族で取り組むようにしました。

活動1 田植え ☆ミッション「家族で話し合い、田植えのめあてを考えよう」☆



最初のプログラムは田植えでした。まず、家族で話し合い、「最後まであきらめずにがんばる」「なるべくまっすぐ、苗を3、4本ずつ植える」等のめあてを立てました。

次に、上津野地区の会長方から田植えの仕方の指導を受け、家族のめあてが達成できるよう、声をかけあって田植えを進めていました。慣れてくると、植えるスピードも速くなり、1時間半後には、見事に田植えが終わりました！

活動2 カむすびづくり

田植えをしておなかがすいたところで、上津野地区郷土料理「カむすびづくり」を行いました。上津野地区女性部の方に握り方を教わり、子ども達が家族分を作りました。女性部のみなさんは他にも、「たけのこのきんぴら」や「うどの木の芽和え」などの郷土料理をふるまってくださいました。どれもおいしそうにほおぼる子ども達の姿が印象的でした。



活動3 テント幕営

今回の寝床は、英彦山の静寂を感じられるテントです。テントの建て方は、ボランティア「やまびこ」さんに教わりました。テントの四隅にあるポールを家族で持ち、息を合わせてテントをおこしました。子ども達は、ペグと呼ばれる杭を地面に打ち込み、テントが風で飛ばないようにしました。テントが建つと、子ども達はさっそくテントの寝心地を確かめ、家族で建てた1日限りの秘密基地に大満足の様子でした。





活動4 野外調理 ☆ミッション2 「他の家族とも協力し、カレーやナンを作ろう」☆

この活動の課題は、「他の家族の方とも協力する」です。そこで、2家族でグループを作り、力を合わせてカレーやナンを作っていました。

調理中、他の家族の子ども達にもやさしく丁寧に教える保護者の姿が見られました。子ども達も初めて接する大人の方と話をしながら、調理を最後まで頑張る様子が見られました。力を合わせて作り上げたカレーとナン。ナンは2つに裂くと、中からはチーズがとろ〜りと現れ、瞬く間に子ども達のお腹の中へと運ばれていきました。



活動5 英彦山探検



2日目は、まず、新緑が映える英彦山の自然を満喫するために、英彦山探検をしました。「散策コース」「プチ登山コース」「フィールドビンゴ」の中から、挑戦したいものを家族で話し合って決めました。久しぶりの運動となった方もいたようでしたが、大人も子どももみんなさわやかな笑顔で探検をしていました。



活動6 野外調理 ☆ミッション3 「子ども達が中心となって、ホットドッグとカステラを作ろう」☆

最後のプログラムの課題は、「子ども達が中心となって活動する」です。ホットドッグもカステラも作り方を読み、よく分からないところだけは保護者に助言をもらいながら進めました。子ども達は、家族分の料理を丁寧に作り、おうちの人に「おいしかったよ。」と声をかけてもらおうと、照れながらも、とても喜んでいました。



全体を通して

どのプログラムでも、家族で話し合い、協力して活動する姿が見られました。活動が進むにつれて、家族間交流も進み、休憩時間になると子ども達は、おにごっこをしたり、虫探しをしたりする様子が見られました。その様子を見ながら、保護者同士も話が盛り上がっていました。

それぞれのプログラムの最後には、「来た時よりも美しく」を合言葉に、子ども達が中心となって掃除を頑張っていました。子ども達の頑張りを保護者の方がしっかりと見て、褒める姿がたくさん見られました。

参加してくれた皆さん、また秋に会えるのを楽しみにしています。活動のご支援をくださった上津野の方、ボランティアやまびこのみなさん、本当にありがとうございました。

